

FRIENDLY

# FRIENDLY REPORT

第62期 中間報告書

平成27年4月1日→平成27年9月30日



株式会社フレンドリー

証券コード：8209



黒字体質への転換を早期に果たすべく、集客力の改善、本社機能の効率化及びコスト削減に取り組み、売上高と損益は前年同期比大幅に改善いたしました。

代表取締役社長

中井 豊人

当社は創立以来、関西を中心に、レストランチェーン「フレンドリー」をはじめとして数々の業態を展開し、多くのお客様に食の楽しさを提供してまいりました。家庭とは違う空間で、豊かな食文化を提供し、お客様の日々の暮らしをより豊かにする—それこそが当社の社会的使命だと考えております。これからも当社は、毎日お迎えする数多くのお客様の喜びの輪をさらに大きなものへと広げてまいります。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第62期第2四半期累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)の営業のご報告をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済対策や金融政策等の各種政策の効果により、企業収益や個人消費に改善が見られ、景気は緩やかな回復基調が続いております。その一方で、円安による輸入品価格の上昇が消費動向を低調に推移させるなど、依然として、景気の下振れ懸念が拭えない状況が続いており、先行き不透明な状況で推移しております。

当社を取り巻く経営環境におきましても、外食業界は、

円安による原材料価格の高騰や、人手不足による人件費の高騰に加えて、品質管理に対する不安感、業種・業態の垣根を越えた企業間競争が激化するなど、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社におきましては黒字体質への転換を早期に果たすべく、集客力の改善、本社機能の効率化及びコスト削減に取り組ましました。

集客力の改善では、前期に終了しました36店舗の改装に加え、DHC(Delicious:マニュアル以上に旨いもの作り)にこだわる、Hospitality:ほのぼのとした温かさの提供、明日への活力の提供、Cleanliness:磨き上げたピカピカの店舗)運動の強化に取り組ましました。同時に「中価格・高品質」・「旨い・綺麗・安心」を商品創作の基本方針とし、「チルドブロースステーキ」、「オムライス」、「生本鮪」等の商品開発とブラッシュアップに取り組ましました。食の安全・衛生管理につきましては、引き続き「フレンドリー品質基準」の構築と衛生管理と検査体制を確立し、厳格に運用しております。

本社機能の効率化及びコスト削減では、業態の集約、店舗数の減少にともなう経営合理化を目的とした本社部門のスリム化を図るべく、平成27年9月に35名の希望退職の募集を行い、32名の応募がありました。また、全経費の見直しによる適正化の判断を行うとともに、全経費の必要性と削減案の検討によるコスト低減に取り組ましました。

店舗展開につきましては、「ファミリーレストラン フレン

ドリー」2店舗を「産直鮮魚と寿司・炉端 源ぺい」に業態転換いたしました。また、「なじみ野 大阪駅前第2ビル店」を平成27年6月2日に新装オープンいたしました。一方、「団欒れすとらん ボンズ」1店舗を閉店いたしましたので、当第2四半期会計期間末の店舗数は、前事業年度末と変わらず85店舗(前年同期比8店舗の減少)となりました。

業態別には、「産直鮮魚と寿司・炉端 源ぺい」33店舗、「おいしい・たのしい・ここちいい」をコンセプトとする洋食の「ファミリーレストラン フレンドリー」16店舗、「釜揚げ讃岐うどん 香の川製麺」14店舗、「日本の原風景“里山”」をコンセプトとする居酒屋「和み料理と味わいの酒 つくしんぼう」12店舗、「和・洋・中の料理と団欒」をコンセプトとする「団欒れすとらん ボンズ」7店舗、「新・酒場 なじみ野」2店舗、「フレッシュ フレンドリー」1店舗となっております。

これらの結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は4,528百万円(前年同期比120百万円の増加)、営業損失は95百万円(前年同期比125百万円の改善)、経常損失は92百万円(前年同期比128百万円の改善)、四半期純損失は235百万円(前年同期比185百万円の改善)となり、店舗数は減少いたしましたが、売上高と損益は、前年同期比大幅に改善いたしました。

株主・投資家の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年12月

代表取締役社長 **中井 豊人**

当社は、洋食料理主体の「ファミリーレストラン フレンドリー」・「フレッシュ フレンドリー」、和食主体の「産直鮮魚と寿司・炉端 源пей」、「団欒れすとらん ボンズ」、都市型居酒屋の「和み料理と味わいの酒 つくしんぼう」、「新・酒場 なじみ野」、セルフうどん店の「釜揚げ讃岐うどん 香の川製麺」の7業種を展開しております。

今後とも、お客様満足度向上のため、品質・価格・サービス等あらゆる面から改善・向上に取り組んでまいります。



「おいしい・たのしい・ここちいい」をテーマに地域に根ざしたカジュアルなファミリーレストランです。お客様の健やかな生活を考えて、バランスのとれたメニューと、こだわりの美味しさを取り揃えてお迎えています。



15 店舗



フレッシュフレンドリー

1 店舗

商品の旨さと美しさを追求した高級感を感じさせるカジュアルレストランで、清潔感ある雰囲気と心地よい時間を提供します。大人のカップルやファミリーが過ごしやすい高品質な接客と商品を目指しています。



釜揚げ讃岐うどん  
香の川製麺

厳選した素材とこだわりの製法でつくり上げた風味豊かな自家製麺を、セルフスタイルでお楽しみいただける讃岐うどん専門店です。



14 店舗





33 店舗

旬の魚と寿司・炉端のお店です。厳選された海鮮食材にこだわり、なかでもこだわりの源へい盛はご好評をいただいております。



食を通じた団楽とふれあいの絆づくりをテーマにした和食レストラン。新鮮な旬の食材を旨味と持ち味に活かしたメニューには定評があります。



7 店舗



2 店舗

「安くて旨い」、「毎日通いたくなる居心地の良い」新時代の「酒場」として、家庭的な雰囲気の中でお手頃価格のお料理をご用意しております。



つくしんぼう

10 店舗

日本の原風景「里山」をテーマにした都市型居酒屋です。どこか懐かしさを感じる店内で、和み料理と味わいの酒を楽しんでいただけます。



※店舗数は、平成27年12月4日時点のものです。

## 貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期末	前期末
	平成27年9月30日現在	平成27年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	860	1,018
固定資産	4,459	4,523
有形固定資産	3,204	3,223
無形固定資産	41	45
投資その他の資産	1,212	1,254
資産合計	5,320	5,542
(負債の部)		
流動負債	772	739
固定負債	3,219	3,237
負債合計	3,992	3,977
(純資産の部)		
株主資本	2,301	2,537
資本金	4,175	4,175
資本剰余金	3,258	3,258
利益剰余金	△ 5,118	△ 4,883
自己株式	△ 13	△ 12
評価・換算差額等	△ 974	△ 972
その他有価証券評価差額金	35	37
土地再評価差額金	△ 1,009	△ 1,009
純資産合計	1,327	1,564
負債・純資産合計	5,320	5,542

## 損益計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期(累計)	前第2四半期(累計)
	平成27年4月1日から平成27年9月30日まで	平成26年4月1日から平成26年9月30日まで
売上高	4,528	4,408
売上原価	1,391	1,283
売上総利益	3,136	3,124
販売費及び一般管理費	3,231	3,345
営業損失	95	220
営業外収益	74	54
営業外費用	71	54
経常損失	92	221
特別利益	1	45
特別損失	129	233
税引前四半期純損失	220	408
法人税、住民税及び事業税	15	16
法人税等調整額	0	△ 4
四半期純損失	235	420

## キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期(累計)	前第2四半期(累計)
	平成27年4月1日から平成27年9月30日まで	平成26年4月1日から平成26年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 76	△ 140
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 100	△ 148
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	△ 10
現金及び現金同等物の増加額又は減少額	△ 177	△ 299
現金及び現金同等物の期首残高	836	815
現金及び現金同等物の四半期末残高	658	515

## 中間配当についてのお知らせ

当期の中間配当につきましては、まことに遺憾ながら見送らせていただくことになりました。何卒ご了承いただけますようお願い申し上げます。



## 冬の宴会メニューの お知らせ

忘年会・新年会に向け、今年もお客様がご満足の新宴会メニューをご用意しました。

**産直鮮魚と寿司・炉端 源べい**では、人気の「魚市場コース」に豪華刺身舟盛りを加え、季節の煮魚もお付けし、全9品のお値打ち価格でご提供いたします。

また、贅沢かに料理満載「かにつくしコース」は、身入りたっぷりの本すわい蟹を心ゆくまで堪能していただけます。



【源べい】「魚市場コース」

また、贅沢かに料理満載「かにつくしコース」は、身入りたっぷりの本すわい蟹を心ゆくまで堪能していただけます。その他の宴会コースも、お値打ち宴会コースとしてリニューアルいたしました。

### 和み料理と味わいの 酒 つくしんぼう

では、お客様の好みやシーンに合わせて選べる多彩な内容の宴会コースを、お手軽価格で取り揃えました。今回のお勧めイチオシコースはそば出汁を使ったつゆしゃぶ鍋がついた、「選べる土筆鍋コース」をお手軽価格でご用意しております。

## 忘年会・新年会は『源べい』・『つくしんぼう』・『ボンズ』におまかせ!!

そして、海鮮ちゃんこ鍋、海鮮トマト鍋、つゆしゃぶ鍋の3つの鍋から選んでいただける「選べる特選鍋コース」や「女子会なでしこコース」に「豪華特別コース」など全17コースをご用意し、皆様をお待ちしております。

お手頃価格で人気の**団樂れすとらん ボンズ**では、お好みに合わせて名物ちゃんこ鍋、もつ鍋(醤油・味噌)が選べる



【ボンズ】「団樂コース」

「団樂コース」やお手軽な「ボンズコース」、「しゃぶしゃぶ&ちゃんこ鍋食べ放題コース」2種など全6コースをご用意しております。

忘年会、新年会、懇親会等々のご利用を承りたく、従業員一同、皆様のご来店を心よりお待ちしております。



【つくしんぼう】「選べる特選鍋コース」

## 予約販売のお知らせ

毎年恒例となっておりますクリスマス限定お持ち帰りメニューを予約販売で今年もご用意させていただいております。

今年のクリスマスケーキは、北海道生クリームや生チョコレートを使ったケーキに加え、刻みマロン入りの生クリームとマロンクリームで仕上げたモンブラン等種類も豊富に、作りたてのフレッシュケーキをご用意いたしました。きつとご満足いただける仕上がりになっております。

また、カリッとサクサクとした食感でジューシーなフライドチキンや選べる3種のもっちりピザを、ケーキと一緒に

## フレンドリーのクリスマス限定お持ち帰りメニュー!

お楽しみいただける2つのクリスマス特別セットもご用意いたしました。

クリスマスは、是非フレンドリーをご利用いただけますよう皆様のご来店を心よりお待ちしております。

また、ご家庭でもフレンドリーのお持ち帰りのクリスマス特別メニューでお楽しみいただけますようよろしくお願いいたします。



※クリスマスケーキは「フレンドリー」15店舗「フレッシュフレンドリー」1店舗で販売いたします。

## 会社の概要

(平成27年9月30日現在)

商号	株式会社 フレンドリー
英文商号	FRIENDLY CORPORATION
設立	昭和29年8月9日
資本金	4,175,062,600円
発行済株式総数	13,599,281株
従業員数	197名
本社	大阪府大東市寺川三丁目12番1号
主な事業内容	ファミリーレストラン事業

## 役員

(平成27年9月30日現在)

代表取締役社長	中井豊人
専務取締役	後藤政利
取締役上席執行役員	三好秀文
取締役執行役員	和田高明
取締役	※1 兵頭賢明
常勤監査役	山藤明
監査役	※2 大西耕太郎
監査役	※2 渋谷元宏

(注) ※1は社外取締役、※2は社外監査役であります。

## 株式の状況

(平成27年9月30日現在)

発行可能株式総数..... 61,800,000株

発行済株式総数..... 13,599,281株  
(うち自己株式30,857株)

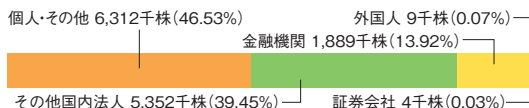
株主数..... 4,756名

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社きずな	3,920	28.90
重里育孝	869	6.41
日本ラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	656	4.84
アサヒビール株式会社	500	3.69
株式会社りそな銀行	442	3.26
株式会社三菱東京UFJ銀行	255	1.88
みずほ信託銀行株式会社	249	1.84
東京海上日動火災保険株式会社	204	1.50
サントリー酒類株式会社	200	1.47
三菱食品株式会社	142	1.05

(注) 持株比率は、自己株式(30,857株)を控除して計算しております。

## ●所有者別分布状況



## 株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 単元株式数 1,000株
- 剰余金の配当基準日 期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日
- 基準日 定時株主総会 3月31日  
その他、必要あるときはあらかじめ  
公告して定めた日
- 株主名簿管理人および  
特別口座 口座管理機関 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社  
本店証券代行部
- 公告方法 電子公告  
(<http://www.friendly-co.com/>)  
ただし、事故その他やむを得ない事由  
によって電子公告による公告をす  
ることができない場合は、日本経済新聞に  
掲載する方法により行う。
- お問合せ先 〒168-8507  
(郵便物送付先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社  
証券代行部  
(電話照会先) 電話 0120-288-324
- 特別口座に関する  
事務取次所 みずほ信託銀行株式会社  
全国各支店  
みずほ証券株式会社  
本店および全国各支店

決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書は、EDINET(金融商品取引法)に基づく  
有価証券報告書の開示書類に関する電子開示システム)にて開示しております。